

令和8年1月
第172号

ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

皆様こんにちは、ヨコレイひまわり発電所です。

寒波の影響で急激に冷え込みましたね。

体調管理に一層気を付けて過ごしましょう。

それでは今月も、ひまわり通信にお付き合いください。

太陽光や風力のトラブル、「逃げ得」許さず 経産省がメーカー公表へ

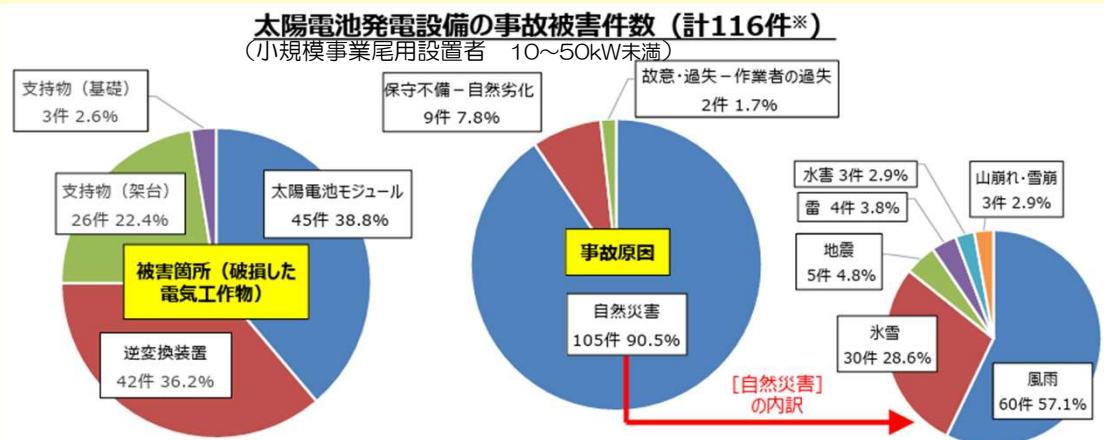
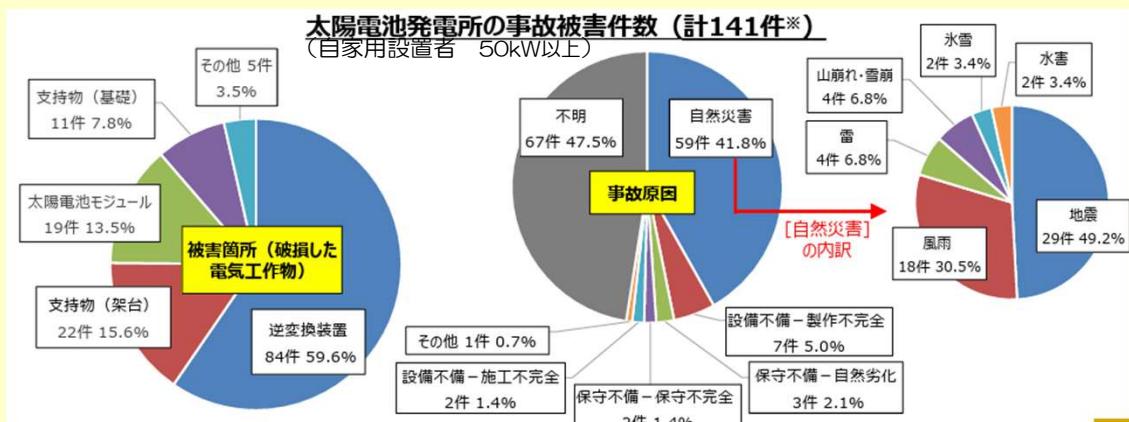
経済産業省は再生可能エネルギーをはじめとした発電事業の安全確保の枠組みを広げるため、太陽光や風力発電の機器メーカーへ輸入業者に、事故時の原因究明に協力する努力義務を課す方針を掲げました。協力要請に對して不當に応じなければ社名を公表することで、海外企業などが「逃げ得」になっている状況を改めます。通常国会への提出をめざす電気事業法改正案に盛り込む方向です。現行の電気事業法は、一定規模以上の太陽光や風力の発電設備、送電ケーブルなどでトラブルが生じた際、設置事業者に原因究明や再発防止策などの報告を求めていますが、メーカーが協力する義務はなく、十分に情報を得られないケースが多くありました。太陽光発電協会によると、2025年度上半期の出荷量のうち国内で生産したパネルは5%に留まり、中国をはじめ海外勢のシェアがほとんどを占めました。風力発電設備は日本企業の撤退が進んでおり、欧州や中国企業がシェア上位に並んでいます。法改正によって、メーカーも含めた安全確保の体制を築く目的です。

メーカーからの協力が得られず事故時の原因究明が難しい場合、まず経産相が勧告し、社名の公表は勧告に不當に従わない場合の切り札とします。設置事業者が安全なメーカーを選ぶ指標とする狙いもあります。

発電設備別の事故は太陽光発電が最多く、2023年度に257件に上りました。風力が31件、火力が23件と続きます。太陽光は導入量が急激に伸びており、今後も事故件数の増加が予想されています。

政府は2025年2月に閣議決定したエネルギー基本計画で、2040年度に太陽光を23~29%程度、風力を4~8%程度まで増やす目標を掲げています。

今後は、安全確保の体制整備がより一層求められます。



再エネ推進自治体、過去最高74% 懸念は住民トラブル

全国の市区町村で、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを条例や導入計画などの明文化された方針の下で推進する自治体が過去最高の74%となったことが、朝日新聞や一橋大学などの全国調査で分かりました。調査は2014年、17年、20年に続き4回目となります。2025年1月から実施し、1301市区町村（回答率74.7%）から回答がありました。市区町村のうち、過去の調査で再エネについて「明文化推進」を選んだのは50.5～56.0%でしたが、今回は74.0%と大きく伸びました。明文化はしていないものの「推進の政策を実施」「首長が推進姿勢」の回答を合わせると85.2%に上ります。再エネを推進していると答えた市区町村に、推進理由を複数回答で尋ねたところ、「温室効果ガスの排出削減につながる」（80.8%）、「エネルギーの地産地消」（50.1%）、「災害などのリスク対応強化」（37.8%）が上位でした。また、「首長が積極的」「周辺の市区町村が積極的」「都道府県が積極的」との回答は前回より増えており、国や周辺自治体の様子を見ながら進める「消極的推進」も一定数あるとみられます。一方で、再エネを進める上で、住民トラブルへの懸念や、地域の担い手不足、行政の実務面での課題が浮かび上がっています。

保土ヶ谷区消防出初式 消防署長表彰をいただきました

1月10日（土）、保土ヶ谷区消防出初式が保土ヶ谷公会堂で開催されました。式典では消防活動に功績のあった個人や団体への表彰が行われ、ヨコレイも【消防署長表彰】をいただきました。今後も保土ヶ谷区の一員として、災害に強い街づくりに貢献して参ります。



※ヨコレイ太陽光発電 先月の実績※ (期間：12/2～1/1) ※()内は先々月の実績

- 発電した電気量 : 531.1 kWh (591.0 kWh) ↓
- 東電への売電量 : 100.0 kWh (143.0 kWh) ↓
- 売電金額 : 850 円 (1,215 円) ↓

日本生命、環境悪化懸念の再エネ事業者を取引先から除外

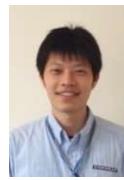
日本生命保険相互会社は、自社で利用する再生可能エネルギーについて、発電施設の建設によって環境破壊を引き起こす恐れがある事業者を調達先から排除する方向で検討していることが分かりました。

同社は本社や支社などグループ全体で、年間約9千万キロワット時の電力を使用しています。2040年度までに、全国で約1500カ所に展開する営業拠点で自社契約電力の100%を再生可能エネルギーで賄う計画です。取り組みを進めるにあたり、地域住民や環境への影響を重視しています。再エネを巡っては、建設による森林伐採などの環境破壊が問題視されるケースが増加しており、こうした問題を引き起こす懸念のある事業者や地域住民に対する説明が不十分な事業者は、調達先から除外する考えです。

私たちが『ひまわり通信』を担当しています



アゲナ



カサノ



イノウ



クロダ

(株)ヨコレイ 法人向け太陽光発電

ひまわり発電所

<https://yokoray.co.jp/himawari>

0120-37-4501

(受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く)

※本紙の配信停止をご希望の方は、ご連絡ください※

■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>

※()内は前月の数値

日 照 時 間: 167.7 時間 (160.5 時間) ↑
平均最高気温: 13.2 ℃ (17.0 ℃) ↓